

さいせいせいびけいかく
都市再生整備計画

おばま
小浜まちなか地区
(第2回変更)

ふくい おばま
福井県 小浜市

令和4年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	福井県	市町村名	おぼまし 小浜市	地区名	おぼまし 小浜まちなか地区	面積	148 ha
-------	-----	------	-------------	-----	------------------	----	--------

計画期間	令和 1 年度 ~ 令和 5 年度	交付期間	令和 1 年度 ~ 令和 5 年度
------	-------------------	------	-------------------

目標

- 「住んでよし、訪れてよし」地域資源を活かした持続可能なまちづくり
 目標1 「住んでよし」安心安全に暮らすことのできるコンパクトなまちづくり
 目標2 「訪れてよし」地域資源を活かした回遊性のあるまちづくり

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)
 本市では、高度成長期を中心に、中心市街地において商店街等の成長により集中的にインフラ整備がなされてきたが、長期的な人口減少、高齢化による商店街等の後継者不足などにより、空洞化が進んでいる。一方で、市街地西部の重要伝統的建造物群保存地区や寺社仏閣、鮮魚市場等の観光資源も豊富である。
 また、高度成長期以降の自家用車の普及による公共交通の衰退や、郊外での小規模な宅地造成等による効率的でない公共投資などの課題がある。
 よって、中心市街地や、区画整理事業等により既にインフラの整っている区域を居住拠点とし、郊外への公共投資の拡散を抑制することにより、公共交通等の充実や、既存の観光資源の有効活用により、中心市街地等、居住拠点の人口密度確保と観光交流人口の拡大を図る。

まちづくりの経緯及び現況

- 計画区域の概況
 ・当地区は小浜市の中心部～北側に広がる一帯の市街地であり、古くから小浜市の中心地として多くの人が生活し、集まり、活動してきたエリアである。
 ・地区内中心部にはまち歩き観光拠点・地域住民の交流施設であるまちの駅、商業施設等が立地している。地区内西部には「小浜西組重要伝統的建造物群保存地区」を有し、古くからの町並みが保存・継承されている。また地区内北部は古くからの城下町や区画整理によってできた住宅地を有し、伝統文化が継承されているとともに良好な居住環境を形成している。
- 小浜市観光まちづくり計画
 ・平成25年8月に、小浜市観光まちづくり計画を策定。小浜市の中心市街地に位置し「小浜西組重要伝統的建造物群保存地区」を含む小浜地区中・西部地域エリアにおいて、歴史・伝統を体感できる回遊性の高いまちづくりを進めている。
- 歴史と伝統の感動おぼま地区都市再生整備計画
 ・小浜市観光まちづくり計画において位置付けられた施策を実行するため、平成26年度～30年度にかけて、歴史と伝統の感動おぼま地区都市再生整備計画に基づく事業を実施。明治期の芝居小屋「旭座」を移築復元し、まち歩き観光拠点・地域住民の交流拠点となる「まちの駅」整備や、重伝建地区を代表する町並み「三丁町」の電線地中化等を進めてきた結果、市内に点在する豊富な地域資源を線で結ぶ観光まちづくりの基盤が構築された。
- まちづくりの現況
 ・平成26年7月の舞鶴若狭自動車線の全線開通を契機に、観光客数は増加をしており、「小浜西組重要伝統的建造物群保存地区」では旧料亭や町家をリノベーションした宿泊施設やカフェがオープンし、まちの魅力が増大している。

課題

- ・安心安全に暮らすための防災対策の向上が地域住民から望まれている。
 ・観光面、点在する豊富な地域資源を“線”で結ぶための各種事業を実施してきたが、さらに“面”として効果が発揮されるよう、まち歩き環境の整備が引き続き必要とされている。

将来ビジョン(中長期)

- 第5次小浜市総合計画(平成23年2月)
 ・小浜市がめざす将来像を『「夢・無限大」感動おぼま』とし、自然と文化を活かし地域力を結集した協働まちづくりを進めることとしている。
 ・当計画に関連する取り組み内容としては、安全・安心なまちづくり、歴史的遺産を活かしたまちづくり、重要伝統的建造物群保存地区内の環境整備に取り組むとしている。
- 都市計画マスタープラン(平成24年4月)
 ・平成24年4月に、小浜市都市計画マスタープランを改訂。「人と自然・歴史・文化を紡ぐ」感動のまち「おぼまー地域力を活かした持続可能なまちづくり」をテーマとし、本市の有する歴史・伝統・文化・食などの魅力を次代に継承するとともに、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりに取り組むこととしている。
 ・その中でも、当地区に含まれるエリアのまちづくりは「先導プロジェクト」として位置付けられ、歴史・文化を活かしたまち歩き環境の整備、回遊性の創出、まちなか居住の場づくり等に重点的に取り組むこととしている。
- 立地適正化計画(平成30年3月)
 ・平成30年3月に、小浜市立地適正化計画を策定。都市計画マスタープランの方針をクローズアップし、「暮らしやすい持続可能なまちづくり」、「安全・安心で快適に住み続けられるまちづくり」、「地域資源を活かした多様な拠点とネットワークづくり」に取り組むこととしている。

都市構造再編集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

・本市の都市機能については、JR駅、公立病院、市役所、県立・市立図書館、文化会館、公立高校等の大部分の機能が中心市街地に既に集積されており、その区域内及び隣接区域に重伝建地区等の観光資源も存在することから、重伝建地区内の舗装の高質化など、観光交流機能の充実を図るとともに、現在の都市機能については郊外への移転等を行わず、区域内の公共サービスの効率化を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

中心市街地にある、都市再生整備計画事業で整備した「まちの駅」、小浜IC直近の「道の駅」、食文化館を中心とした「海の駅」の3駅が連携、相互に情報発信し、「まちの駅」を中心に、観光案内サインの充実、重伝建地区の舗装高質化等により、観光客のまち歩きの満足度の向上を図る。
また、雨水渠の整備により、区域内の生活安全度の向上を図り、区域内人口の流出を軽減する。

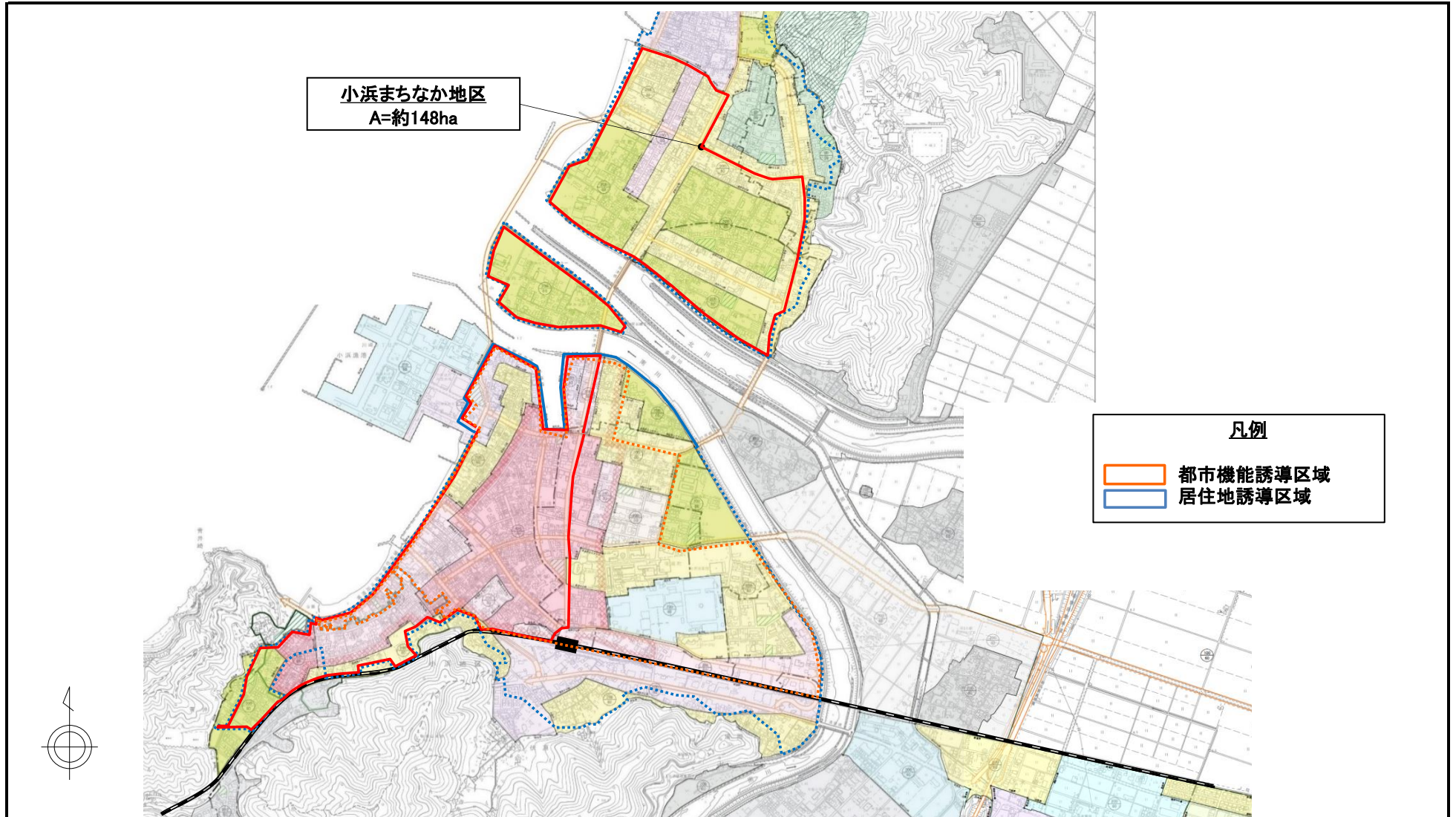
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内人口	人	計画区域内における人口	安心安全な暮らしにつながる事業を行うことにより、コンパクトなまちづくりを進め、持続可能なまちづくりに寄与する。	8,883	平成29年	8,883	令和5年
地区内観光客数	人/年	計画区域内における年間の観光客数	主要動線や点在する地域資源の整備を行うことにより、まちなかを楽しく回遊する市民や来訪者の増加を図り、まち歩き環境を創出する。	216,400	平成29年	240,000	令和5年
まちの駅利用者数	人/年	まちの駅の年間利用者数	まち歩き環境の整備を行い、小浜の歴史・文化にふれ、地域への理解や愛情を育み、来訪者との交流機会を創出する。	141,900	平成29年	200,000	令和5年

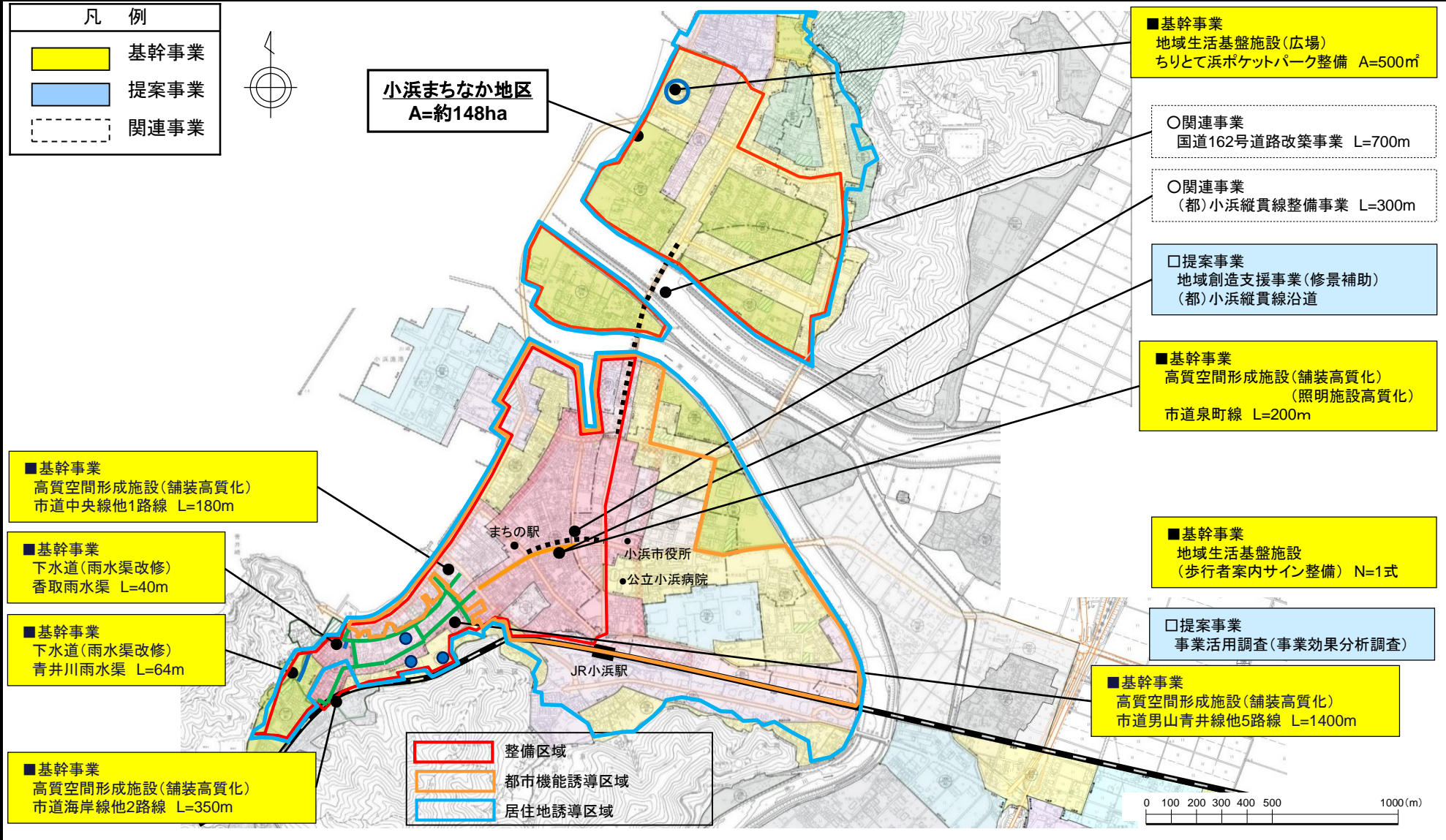
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1:「住んでよし」安心安全に暮らすことのできるコンパクトなまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水渠の整備を行い、生活の安全性の向上を図る。 	<p>(基幹事業/下水道) 雨水渠改修 [青井川雨水渠・香取雨水渠]</p>
<p>整備方針2:「訪れてよし」地域資源を活かした回遊性のあるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点在する豊富な地域資源を生かし、観光客にまち歩きを楽しんでもらえるよう、ちりとて浜にポケットパークを整備する。 ・案内サインの整備を行うとともに、舗装の高質化を行い、まち歩きを楽しむ来訪者の満足度向上を図る。 ・都市計画道路小浜縦貫線の整備により、舞鶴若狭自動車道小浜ICからの交通アクセス向上を図るとともに、沿線家屋への修景補助を行うことにより、景観に配慮した家屋の立ち並ぶ街なかへの導線を整備する。 	<p>(基幹事業/地域生活基盤施設) 広場 [ちりとて浜] (提案事業/地域生活基盤施設) 歩行者案内サイン整備 (基幹事業/高質空間形成施設) 舗装高質化 [市道中央線 他1路線] (基幹事業/高質空間形成施設) 舗装高質化 [市道男山青井線 他5路線] (基幹事業/高質空間形成施設) 舗装高質化 [市道海岸線 他2路線] (基幹事業/高質空間形成施設) 舗装高質化・照明施設高質化 [市道泉町線] (提案事業/地域創造支援事業) 修景補助 [都市計画道路 小浜縦貫線沿道]</p>
その他	

<p>小浜まちなか地区(福井県小浜市)</p>	<p>面積 148 ha</p>	<p>区域 小浜渡期の一部・小浜飛鳥の一部・小浜生玉・小浜今宮・小浜大原の一部・小浜大宮の一部・小浜男山の一部・小浜鹿島・小浜香取の一部・小浜神田・小浜貴船・小浜清海・小浜酒井・小浜塩屋・小浜白鷺・小浜白鷺・小浜新屋・小浜住吉・小浜多喜・小浜電田・小浜津島・小浜日吉・小浜広津・川崎1丁目の一部・有井の一部・大手取の一部・駅前町の一部・千種1丁目の一部・一善町の一部・城内1丁目の一部・城内2丁目・山手1丁目・山手2丁目の一部・山手3丁目の一部・豊浜・水取1丁目・水取2丁目・水取3丁目の一部・水取4丁目の一部・姫屋敷・湊・小松原の一部・板屋町</p>
-------------------------	------------------	--



お ぼ ま ふ く い お ぼ ま
小浜まちなか地区(福井県小浜市) 整備方針概要図

目標	「住んでよし、訪れてよし」地域資源を生かした持続可能なまちづくり	代表的な指標	地区内人口 (人)	8,883	(H29年度) →	8,883	(R5年度)
			地区内観光客数 (人/年)	216,400	(H29年度) →	240,000	(R5年度)
			まちの駅利用者数 (人/年)	141,900	(H29年度) →	200,000	(R5年度)



都市構造再編集集中支援事業事前評価シート

計画の名称: 小浜まちなか地区 事業主体名: 小浜市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○